

井手（JR西）元会長・ 深澤（JR東）社長を 法廷に呼べ！

1047名解雇撤回・

JR復帰・団交開催行訴

12月23日（金）11時〜

東京地裁527号法廷

※10時東京地裁前集合

国鉄1047名解雇者当該

動労千葉・中村副委員長の訴え

闘いの決断は間違っていなかった

30年以上前、国鉄は分割・民営化され、国鉄職員の3人に1人が首を切られ、職場を去りま



した。民営化と社会保障の解体、規制緩和、市場原理、そして労働組合の破壊を目的とした新自由主義の攻撃でした。さらに改

憲と戦争まで突き進もうとしていた攻撃でした。

当局は「ストに入れば全

員解雇」と揺さぶりました。

しかし、私たち動労千葉は2波のストを敢行し28名の解雇者、12名のJR不採用―3年後の整理解雇者を出しました。この闘いで団結を深め、JRに行った組合員も色々な差別を受けながら今なお闘い続けています。

自分たちの決断は間違いでなかったと胸を張って言えます。仲間を信じて、団結すること。全国の闘う仲間と労働組合をつくることです。

国家的不当労働行為の真実暴いた

30年以上に及ぶ闘いの中で、国家的不当労働

行為の真実をすべて明らかにしました。JR設立委員会は不当労働行為の基準を後から作って

私たちをJRの採用名簿から外しました。その後、JRは一貫して採用義務を果たしていません。

裁判は証人採用をめぐる最終局面です。

JR東日本の深澤社長は、JR東元会長の

葛西の指示で私たちを採用名簿から排除した張

本人であり、その後も採用を拒否し続ける不当

労働行為を行っています。そして、国鉄改革3

人組と言われた最後の生き残りである井手正敬

を法廷に出すことが絶対に必要です。

裁判長は、証人採用について次回裁判で判定

すると明言しています。署名運動の推進と12月

23日東京地裁への大結集を呼びかけます。

国鉄闘争全国運動 千葉市中央区要町2-8DC会館

043-222-7207 nationwidemovement@yahoo.co.jp